

令和4年度政務活動費実績報告書
立憲民主市民の会

年月日	調査研究実績内容	摘要
令和4年 9月17日	講演会：教育の振興と女性活躍推進でめざす富山県のウエルビーイング向上 講 師：富山県教育委員会 教育長 萩原 佳子 氏	無し
令和4年 10月29日	講演会：「市民によるエネルギー事業」で、地域の未来を切り拓こう！ 講 師：新潟国際情報大学国際学部教授 佐々木 寛 氏 <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア・ウクライナの戦争にはエネルギーが大きく関与 ・政府任せでは私たちの真の安全は守られない ・エネルギーを変えると社会が変わる ・協議会で構想し会社を立ち上げて実現化 	無し
令和4年 11月6日	講演会：子ども支援—教育費の無償化に向けて [ズームにて] 講 師：千葉工業大学工学部准教授 福島 尚子 氏 <ul style="list-style-type: none"> ・「見えない」教育費、「隠れ教育費」がある ・学校が指定して保護者が購入する斡旋購入等がある ・学校給食の無償化、国も負担する形での全国的な無償化を 	無し
令和4年 11月8日 ～9日	調査先：新潟県南魚沼市 アルピナB I 間 石打事業所 石打丸山スキー場 調査内容：通年営業による従業員の確保と待遇改善について、市営牛岳温泉スキー場や大山観光開発㈱の経営に活かせないか調査する。 調査先：千葉県野田市 調査内容：本市での公契約条例制定に向けて、先行自治体である野田市について制定の経緯や制定後の条例の活用状況などを調査する。 調査先：東京都世田谷区 調査内容：「ひきこもり支援にかかる基本計画」の実施にあたり、特定財源として国の重層的支援体制整備事業を活用しようとした経緯や、事業の現状と今後の課題などについて調査し、本市の福祉行政に活かす。	有り
令和4年 11月12日	講演会：イギリスと日本の園芸史 講 師：有限会社北山ナーセリー 代表取締役社長 北山 直人 氏 世界一の園芸大国日本 <ul style="list-style-type: none"> ・将軍が花好き ・安定した社会 ・江戸の町構造 講演会：今日と同じ明日のために 講 師：一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会 ジオガイド 世界最高齢女性クロスカントリースキーヤ 佐伯 克美（87歳）氏 <ul style="list-style-type: none"> ・60歳で定年、元気でいたい、滑りたい ・87歳になってもこんな日が来たのは①日々に鍛える（楽しく！） 	無し

	<p>②健康維持の食事を摂る③今日と同じ明日との気持ちを持つことがあったから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつになっても、小さい目標を前に置こう 	
令和5年 1月25日	<p>講演会：治療と仕事の両立 講 師：富山産業保健総合支援センター 産業保健専門職/保健師 和田 瑞穂 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療と仕事の両立支援を巡る状況について ・両立支援を行うにあたっての留意事項について ・個別の支援の進め方について ・両立支援コーディネーターの役割について 	無し
令和5年 2月5日～ 7日	<p>視察先：沖縄アリーナ 視察内容：試合観戦 試合の演出や観客・来賓の動線、新B1リーグ加入要件であるVIPルームの設えなどを視察。 視察先：沖縄アリーナ・スポーツ施設視察 視察内容：沖縄アリーナを含む沖縄市内のスポーツ施設を視察することで今後の本市施設の整備計画の参考にしたい。 視察先：うるマルシェ 視察内容：農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」は、地元の人と共に郷土愛をもって沖縄県うるま市の未来を真剣に考え「ものづくり」「ひとつづくり」「まちづくり」を通じた地域社会へ貢献することを経営理念に掲げ、二社による共同体「うるま未来プロジェクトグループ」により運営しています。拠点施設の持つさまざまな機能を有機的につなげ、相乗的な波及効果を産み出しながら、あらゆる課題を解決し、「まちづくり拠点」として「うるま市の経済エンジン」の役割を果たしています。本市においては、農家の疲弊が顕著であり、農業中心でまちおこしをする「うるマルシェ」を視察して、本市の方向性を探っていきたい。</p>	有り
令和5年 2月9日	<p>研修先：東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館「利根」会議室(別館1階) 講 師：財務省前事務次官 矢野 康治 氏 研修内容：国の財政問題が、本市の福祉・子育て・医療・教育に影響を及ぼすことから、「日本の財政問題を正直に語る」(仮称)を傾聴し調査するもの。 講 師：総務省自治財政局 新田 一郎 財政課長 研修内容：地方財政計画の歳入・歳出に基づいて、地方自治体の予算が決まるところから「2023年度地方財政計画の解説と地方議会における課題」(仮称)を傾聴し調査するもの。 講 師：飛田 博史 地方自治総合研究所 研究員 研修内容：地方財政を分析するためには知識が必要であることから、「飛田式：地方財政分析講座」～基礎編～を学び、分析に活かすようにする。</p>	有り